

自民党



松原成文

全国学力・学習状況調査

質問 三年間続いた全校参加方式が抽出方式に改められたことに対し、拙速だったとの批判が出ています。文部科学省は検討会議を設置し、全国の教育委員会を対象に今後の調査のあり方などについて調査を行ったが、市の回答内容は。

答弁 市では小学校五年生と中学校全学年を対象に独自の学習状況調査を行っており、中学校の全国学力・学習状況調査が二教科であるのに対し、市は五教科を実施している。これにより詳細な学力の状況などは把握できるため、調査方式は抽出方式のみがよいと回答した。

教科書採択

質問 教科用図書検定調査審議会の提言をもとに、二十一年三月に文部科学省が都道府県教育委員会へ通知を出しているが、市は採択手続きを見直すのか。

答弁 通知では採択にあたり十分な調査研究が必要であるとしているが、市では従来から教科用図書選定審議会とその下部組織である調査研究会を設置し、各種目の教科書の調査研究を行っている。教育委員会は審議会の報告や独自の調査などをもとに四採択地区ごとに教科書を選択しており、学習指導要領の改訂に伴い二十三年度から一新される教科書も同様の手続きで採択する予定である。なお手続きの透明化を図るため、審議会の議事録や資料などは事後に原則公開している。

新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」第三期実行計画

質問 新総合計画十年の総仕上げとなる第三期実行計画はどこに重点を置いて策定するのか。

答弁 厳しい財政状況下においても、高齢者の支援、子育て環境の整備や雇用・経済対策など市民生活に必要なサービスを着実に提供することは重要であり、社会経済環境の変化に的確かつ機動的に対応した取り組みを推進していく。また、環境・ライフサイエンス分野、福祉分野の未来産業の振興など引き続き国際社会に貢献し、持続的に発展していく元気を都民づくりに取り込んでいきたい。

子ども手当

質問 支給事務に多くの職員が投入されているが、事務負担の内容は。また市が独自に支給している手当や助成については、今後の取り扱い。

答弁 事務委託やコールセンター設置とともに、職員の応援体制を組みながら進めているが、法改正からの準備期間が短いことや児童手当法との関連もあり審査などが複雑で、事務負担も多く発生している。市の手当や助成は、国の子ども施策の動向を踏まえ、子育て施策全体の中で検討していきたい。

保育所待機児童対策

質問 民間事業者を活用して保育施設の設置を急ぐ中で、需給面から見た保育士の状況は。また保育中の事件・事故が目立つが、民間事業者への安全の担保はどのように徹底していくのか。

答弁 各事業者が指定保育士養成校との連携を図るなど、保育士の確保に努めているため、保育所の開設に影響は生じていない。保育園児の安全対策は、事業者に対し安全管理マニュアルの整備や遊具の日々の点検の実施などの指導・監督を行っており、引き続き徹底していく。

生ごみリサイクル活動助成金

質問 創設の趣旨は。また助成制度により、減量が予想される生ごみの量は。

答弁 循環型のまちづくりに向けて生ごみの減量やリサイクル推進は重要であるため、十世帯以上で構成する市民団体を対象に、家庭から発生する生ごみを堆肥化して、農地や公共の花壇で有効活用する活動を支援する目的で制度を創設した。減量される生ごみは、年間で三十トン程度を想定しており、現在リサイクル活動を行っている団体の活動がさらに促進されるとともに、新たな団体の立ち上げなど活動の輪の広がりが地域コミュニティの活性化なども期待している。

小杉駅周辺のまちづくり

質問 二十二年三月のJR横須賀線武蔵小杉駅開業に伴う人の流れの変化と発生した課題は。

答弁 中丸子や市ノ坪方面に向かう方が横須賀線口を利用するなど駅周辺の利便性が向上し、乗降客数も二割ほど増加している。また駅に停車する列車の速度が落ちるため踏切の遮断時間に影響が出ており今後対策を協議していく。なお南武線と横須賀線との連絡通路は、二十二年度に現在の三百九十メートルから百メートル短縮する計画がある。



JR武蔵小杉駅(横須賀線口)

共産党



勝又光江

普天間基地の移転問題

質問 沖縄県民の思いに反し日米合意が優先された結果となったが市長の見解は。

答弁 移転問題は平成八年から議論され微妙なバランスの上に結論を出した難しい問題である。その間の沖縄県民などの苦勞に対し、具体的見通しがない中で「最低でも県外移設」を明言したことは県民だけでなく国民全体の混乱を招いたと考える。沖縄の基地問題は議論や折衝の歴史的な積み重ねが大事であり、今後多くの議論などが続けられるものと考えている。

新たな行財政改革プラン策定の考え方

質問 「コンパクトなまちづくりが重要」と言いながら「これまで進めてきた拠点駅を中心とした整備を引き続き推進する」としている。新たな財政需要を呼び起こす大規模な開発をどう総括するのか。またコンパクトなまちづくりの展望は。

答弁 市は地理的優位性などのポテンシャルを最大限に発揮させ、魅力ある都市拠点の形成を進めてきた。人口増加期には多くの方が利用しやすく、また高齢化が進んだ人口減少期にも利用できるよ

トル短縮する工事と併せて、動く歩道やエレベーターなどの整備を予定している。

参議院議員通常選挙

質問 国の事業仕分けによる選挙執行経費の大幅削減の影響と対応は。

答弁 十九年の参議院選挙の執行経費三億二千七百万円に対し、16・2%、約五千円強が削減される見込みである。これまでも従事職員の週休日の振替制度の積極的な活用や管理職の動員による経費削減を図ってきたが、二十二年七月の選挙では、一投票所に配置する市職員数を五人から四人にするとともに投票所運営経費の減額を行い、開票についても職員などの配置基準の見直しや人材派遣の増員などで対応する。

このほか、九都府市首脳会議、口蹄疫の感染拡大、川崎冷蔵(株)の経営、入札制度などについて質問がありました。

う、都市拠点に効率的に都市機能を整備しコンパクトなまちづくりを進めたい。

雇用問題

質問 二十二年三月末の市立高校全日制の就職内定率は92・2%で全国平均を下回っている。高卒未就職者と企業を結び付けるプログラムを検討しては。

答弁 国が新卒者体験雇用事業を創設するなどの対策を講じており、市も周知を図るとともに、二十二年七月にNPO法人と協働で開設する「かわさき若者サポートステーション」の活用を呼びかけるなど継続的な支援を行いたい。

小児医療費助成制度

質問 制度拡充は二十一年の市長選挙における公約であることから、遅くとも二十三年四月には拡充に踏み出すべきでは。

答弁 小児医療費助成制度は重要な子育て支援施策と考えるが、子ども手当に地方負担が残るなどの財政的課題もある。今後は国の子ども手当の動向や市の財政状況などを踏まえ、任期中に所得制限の緩和や通院助成対象年齢の拡大を実現できるように検討していきたい。

保育所待機児童対策

質問 保育施設の増設には用地確保が不可欠であり、国有地・県有地を利用できるよう国・県に働きかけるべきでは。また市の企業会計部局の土地も活用しては。

答弁 認可保育所の整備には一定の用地面積が必要であり、将来も継続的な保育需要が見込まれる地域が望ましい。保育所に適した土地がある場合は国や県に働きかけたり、市の企業会計部局の土地については利用に向け調整していきたい。

コミュニティ交通

質問 小田急線百合ヶ丘駅と麻生区高石地区を結ぶコミュニティバス「山ゆり号」の二回目の試行運行が二十二年六月に開始された。本格運行につなげるため、運行経費への補助も含め見解は。

答弁 今回の試行では地元の方が共に支え合う制度としてのサポート割引制度や高齢者などへの割引制度を導入しており、高齢者などの外出に効果が期待される。試行後は安全性や割引制度の効果を検証するとともに本格運行の実現を検討するが、市も車両購入費や高齢者への割引補助など適切な支援、検討を行いたい。



コミュニティバス「山ゆり号」

殿町三丁目地区における研究開発拠点の形成

質問 研究開発への支援が自治体として最優先に取り組む課題が疑問である。研究機関などの集積には膨大な支出が必要だが、新たな誘導策を検討しているのか。

答弁 国は二十二年六月を目途に取りまとめる新成長戦略で、税財政面の優遇措置などを盛り込む総合特区の創設を検討している。殿町三丁目地区では中核施設の整備を進めるとともに、この特区制度の活用により国の施策などを誘導し研究開発機関の立地促進を図るなど、先端的な研究開発拠点の形成に取り組むたい。

かわさき市議会 Q&A

議員の資産公開制度とは?

「政治倫理の確立のための川崎市議会の議員の資産等の公開に関する条例」に基づき、市民の信頼の確保とより開かれた市政の実現のため、川崎市市議会議員は資産などを自ら公開することとしています。議員は、任期開始のときに資産等報告書を公開するほか、毎年、前年中に新たに取得した資産や所得なども公開しています。報告書は、議会局にて閲覧することができます。

問い合わせ 議会局広報・報道担当 ☎044-200-3377

用語の解説

本文中の用語について解説します。なお、取り上げた用語の横に線*を付けています。

◆内航フェイダー(二画)

輸出入貨物の国内港間輸送のことで、基幹航路のコンテナ船が寄港する港と寄港しない港の間を船舶により輸送します。

◆平和市長会議(二画)

広島・長崎両市長が昭和五十七年に提唱した「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する世界各国の都市で構成された団体です。二十二年八月一日現在、百四十四カ国、四千九百九十九都市が加盟しています。

◆ヒブ(二画)

髄膜炎、敗血症、肺炎など、全身感染症を引き起こす病原細菌で、乳幼児の細菌性髄膜炎の原因として一番多いと言われています。

このほか、中小企業支援、特別養護老人ホームなどについて質問がありました。